

おいしさ、けんこう、  
つぎつぎ、わくわく。))



**2020年3月期 第2四半期**

**決算説明会資料**

**(2019年4月1日～2019年9月30日)**

**2019年11月13日**

**フジッコ株式会社 (2908)**

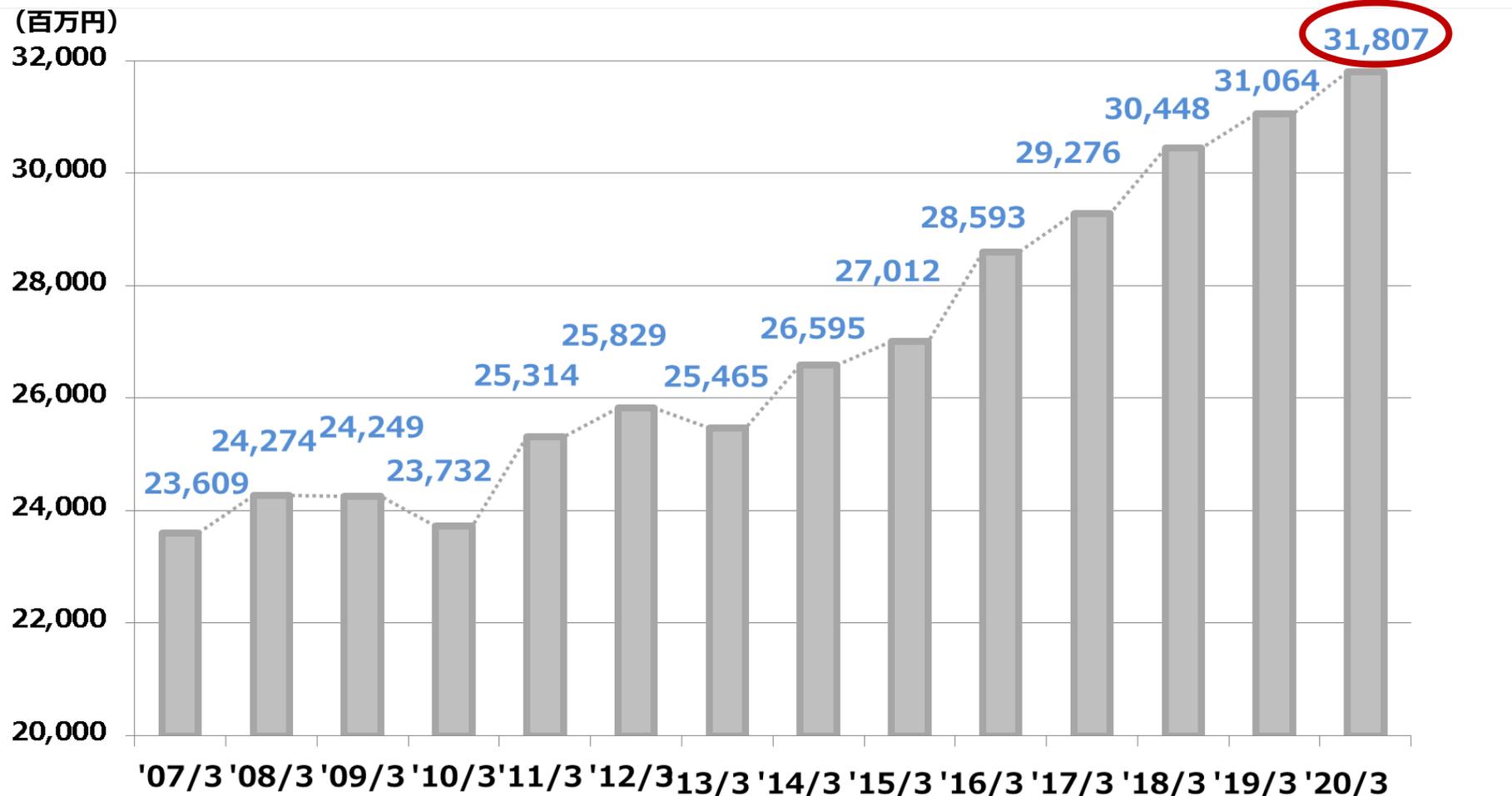
**<https://www.fujicco.co.jp/>**

# 2019年度上半期トピックス

代表取締役社長

福井 正一

## 第2四半期累計期間 連結売上高の推移



売上高	23,609	24,274	24,249	23,732	25,314	25,829	25,465	26,595	27,012	28,593	29,276	30,448	31,064	31,807
[前期比]	100.9%	102.8%	99.9%	97.9%	106.7%	102.0%	98.6%	104.4%	101.6%	105.9%	102.4%	104.0%	102.0%	102.4%

## 8月1日より子会社化

フジッコ

- ✓ 和洋を中心とする製品ラインアップ
- ✓ 量販店チャンネルに強み



フーズパレット

- ✓ 中華を中心とする製品ラインアップ
- ✓ 百貨店チャンネルに強み

製品開発の相乗効果によりおかず事業の拡大を加速する



# 小鉢シリーズの躍進

佃煮



NEW

惣菜



煮豆



# 「おばんざい小鉢」 TVCM放映

近畿圏 7月10日～8月10日

首都圏 9月10日～9月30日 \*静岡エリア含む



# 「カスピ海ヨーグルト 脂肪ゼロ」リニューアル

\*2019年9月より

— 北海道産生乳100%使用 —



# 「おまめさん」リニューアル

\*2019年9月より



開発当初  
1976年



2013年



2019年

こんぶ豆  
ごもく豆  
きんとき  
北海道黒豆  
うぐいす豆

# 「まめな毎日」キャンペーン

**フジッコ**

ヘルシーグッズなどが当たる!

おまめさん

**まめな毎日**

キャンペーン

対象商品 おまめさんシリーズ全品

キャンペーン期間: 2019年11月30日(土)まで

キャンペーンの詳細はWEBサイトへ!  
まめな毎日キャンペーン 検索

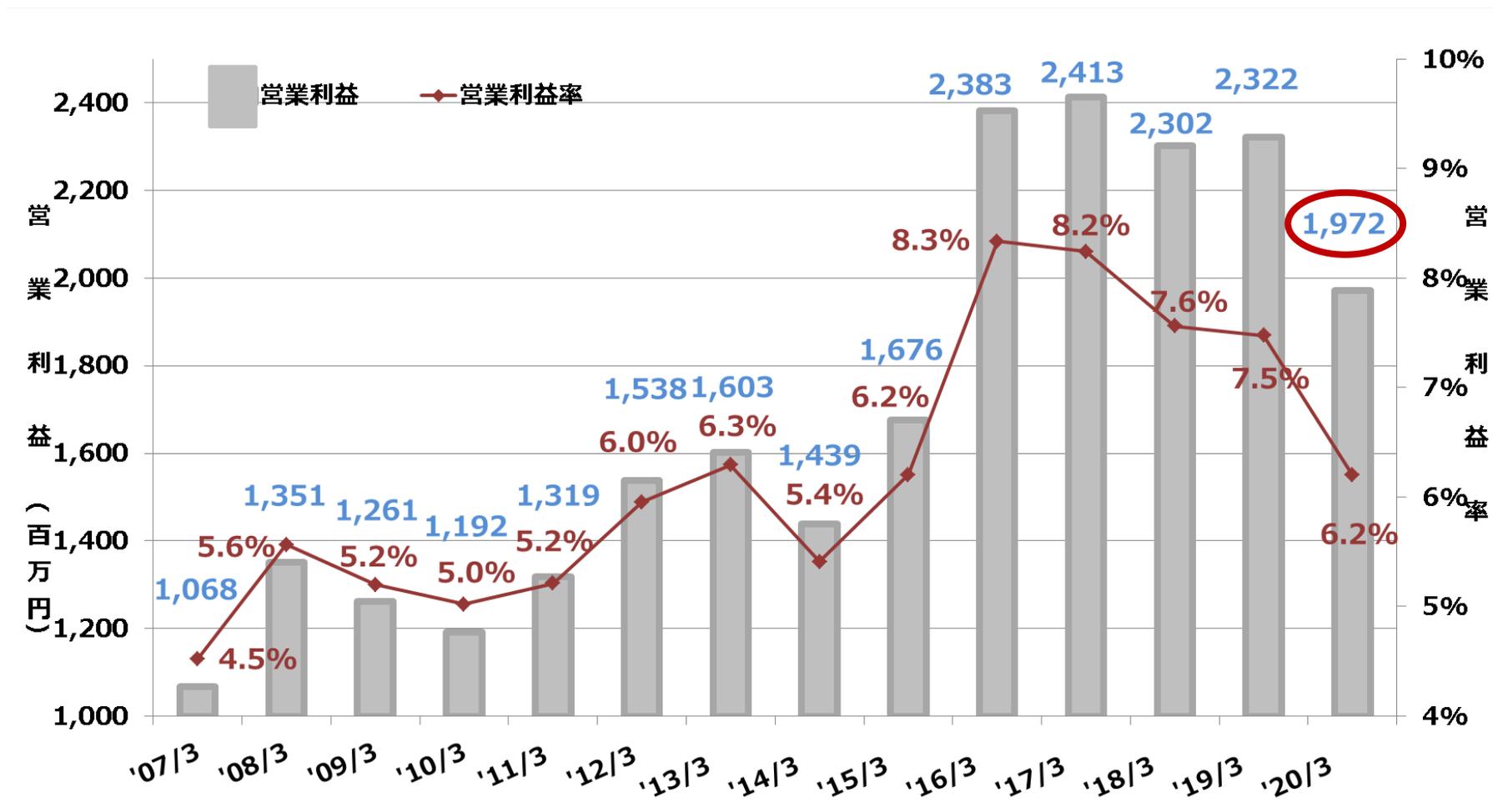
QRコード

# 「ふじっ子煮」 TVCM放映

首都圏 5月20日～6月10日 \*静岡エリア含む  
近畿圏 5月20日～6月10日



## 第2四半期累計期間 営業利益・営業利益率の推移



### よかった点

- ◎ フーズパレット社の完全子会社化（2019年8月1日～）
- ◎ 惣菜製品、豆製品、その他製品（通販）は計画達成
- ◎ 「おばんざい小鉢」の成長が継続

### 悪かった点

- ◎ 営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも減益
- ◎ 売上原価率が前年より悪化
- ◎ 販管費率も前年より悪化

社 是

創造 - 路

Always Be Creative

～仕事を創造し 商品を創造し 人生を創造する～

私たちの目指す姿

自然の恵みに感謝し

美味しさを革新しつづけ

全ての人々を元気で幸せにする

健康創造企業を目指します

5つの行動指針

会社の持続的な発展とすこやかな社会の  
実現のために私たちは変わります！

情熱

熱くなれ！  
情熱は 周囲を巻き込み 意識と行動を引き出す

変革

変化を歓迎せよ！  
知識と感性を磨き 時代の一步先を行け

挑戦

失敗を恐れず 挑戦せよ！  
挑戦は 新たな価値を創造する

結束

志を一つにせよ！  
決まったことは 実行あるのみ

尊重

謙虚に耳を傾けよ！  
互いを尊重する姿勢は 新しい気づきを生む

フジッコグループの従業員はこの行動指針に基づき

誠実かつ真摯な姿勢で業務に取り組みます

おいしさ、けんこう、  
つぎつぎ、わくわく。))



「フジッコの心」をひとりひとりが実践し、  
その成果を広くお届けしたい。

「おいしさ、けんこう」という、変わることのないフジッコ  
のものづくり。

そのひとつひとつを将来にわたって支え続けるための基礎が、  
「つぎつぎ、わくわく」というチャレンジ精神です。

赤いラインは、常に新しいアイデアを「発信」し続けるフ  
ジッコの創造力を象徴しています。

# 伝統と革新から生まれた新たなヨーグルト

## － 大豆ヨーグルト －



日本の伝統食「大豆」  
＋  
西洋の健康食「ヨーグルト」

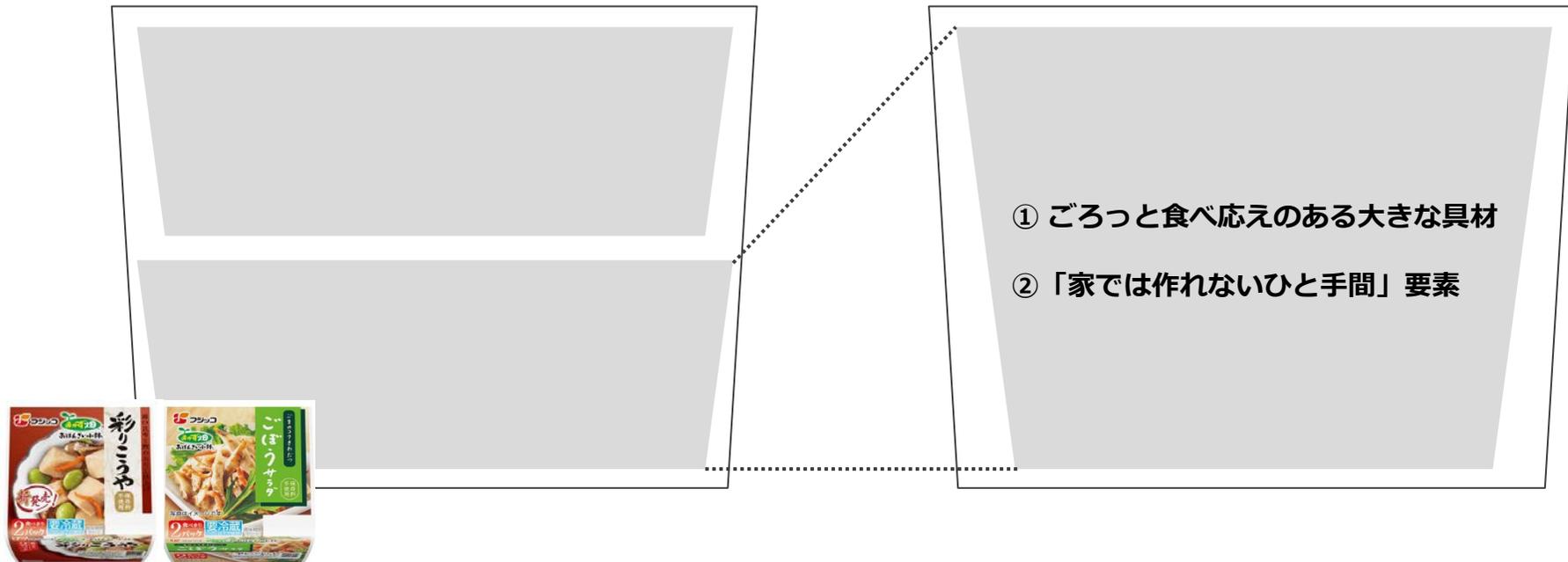
# 個食・食べきり惣菜の開発を加速

## － 「おばんざい小鉢」 深型容器 －

2 P

深型

NEW



「おいしさ」と「利便性」はそのままに  
2 P では実現できなかった人気メニューを追加

# **2019年度 上期決算概要と通期業績の見通し**

**常務取締役**

**山田 勝重**

# 上期決算概要

# 連結損益計算書（前年同四半期比）

	2019/3期第2Q		2020/3期第2Q		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	31,064	100.0	31,807	100.0	742
売上原価	18,299	58.9	18,932	59.5	632
売上総利益	12,765	41.1	12,875	40.5	110
販売費及び一般管理費	10,442	33.6	10,902	34.3	460
営業利益	2,322	7.5	1,972	6.2	△349
営業外損益	167	0.5	176	0.6	8
経常利益	2,489	8.0	2,148	6.8	△341
特別損益	270	0.9	△128	△0.4	△398
税引前利益	2,760	8.9	2,020	6.4	△740
四半期純利益*	1,896	6.1	1,361	4.3	△535
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	63円41銭 [63円34銭]		45円48銭 [45円45銭]		△17円93銭 [△17円89銭]

\* 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。

## 売上高は増収キープ

## 営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも減益

- ◎ 売上高は742百万円の増収
- ◎ 売上原価率は59.5%、前期より0.6ポイントの悪化
- ◎ 販管費率は34.3%、前期より0.7ポイントの悪化
- ◎ その結果、営業利益は349百万円の減益、  
営業利益率は6.2%と前期より1.3ポイントの悪化
- ◎ 経常利益は341百万円の減益
- ◎ 四半期純利益は535百万円の減益
- ◎ 1株当たり四半期純利益は45円48銭、前期より17円93銭の減少  
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は45円45銭

# 連結製品分類別売上高（第2四半期累計期間）

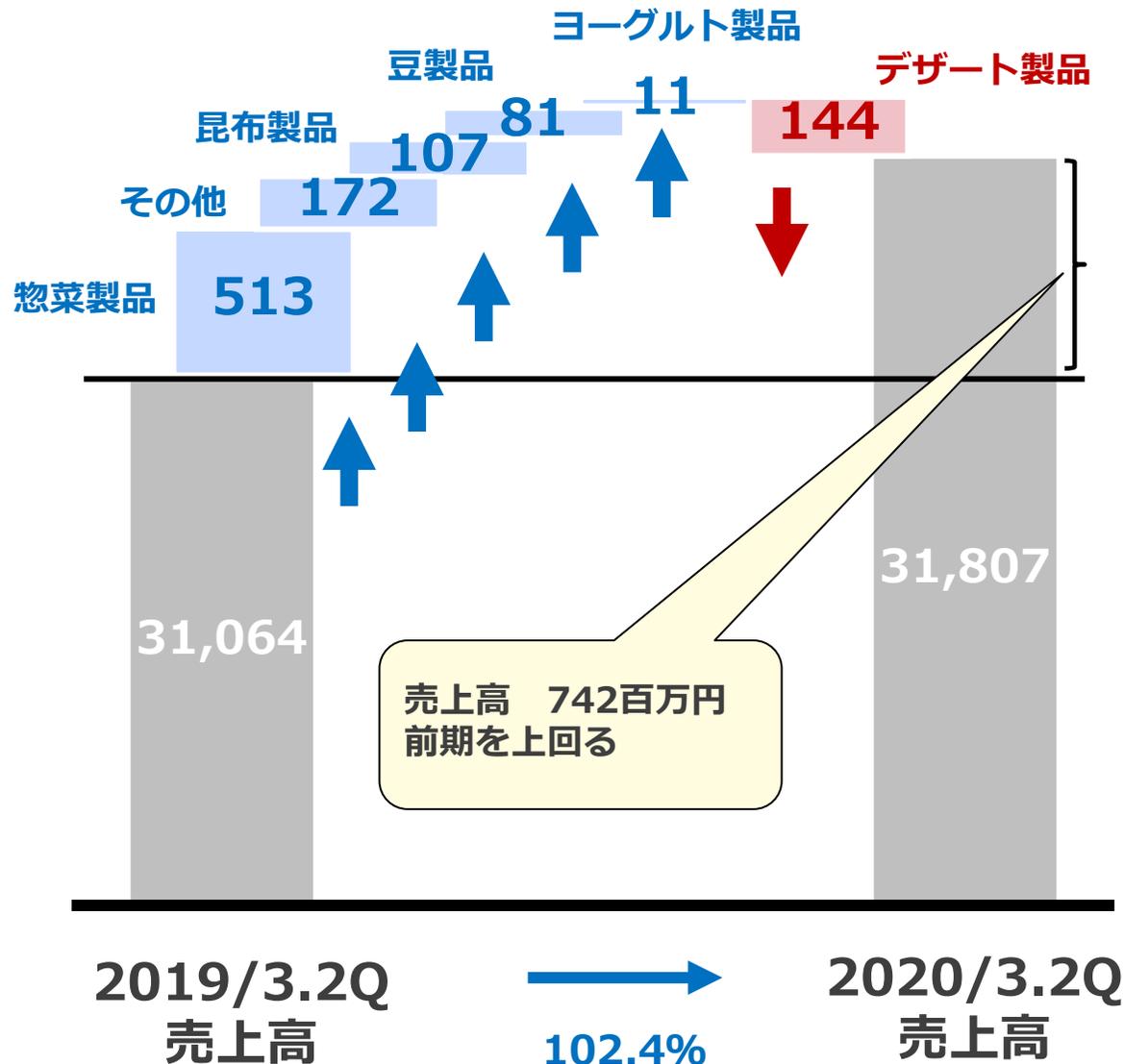
（百万円）	前期 実績	構成比 %	当期 実績	構成比 %	前期差	前期比 %
惣菜製品	10,187	32.8	10,700	33.7	513	105.0
昆布製品	8,447	27.2	8,555	26.9	107	101.3
豆製品	6,250	20.1	6,332	19.9	81	101.3
ヨーグルト製品	3,484	11.2	3,495	11.0	11	100.3
デザート製品	2,033	6.5	1,889	5.9	△144	92.9
その他製品	660	2.1	833	2.6	172	126.2
合計	31,064	100.0	31,807	100.0	742	<u>102.4</u>

## ◎売上をけん引した品群（前期差）

蒸し豆	+ 308百万円
通販商品	+ 148百万円
カップ佃煮	+ 93百万円
日配惣菜	+ 85百万円

# 売上高の増減要因分析（前年同四半期比）

単位：百万円



## 【総括】

デザート製品が前期より下回ったが、惣菜製品、昆布製品、豆製品、ヨーグルト製品が前期より上回ったことから、全体では前期より742百万円上回った

## 【増加要因に対するコメント】

惣菜製品では、包装惣菜「おばんざい小鉢」の伸長、フーズパレット社の中華惣菜が加わる

その他製品ではリニューアルした通販商品「クロクロ」、昆布製品では佃煮「ふじっ子煮」、とろろ昆布が伸長

## 【減少要因に対するコメント】

デザート製品では、「フルーツセラピー」の夏場の天候不順もマイナス影響

# 営業利益の増減要因分析（前年同四半期比）

単位：百万円

## 【総括】

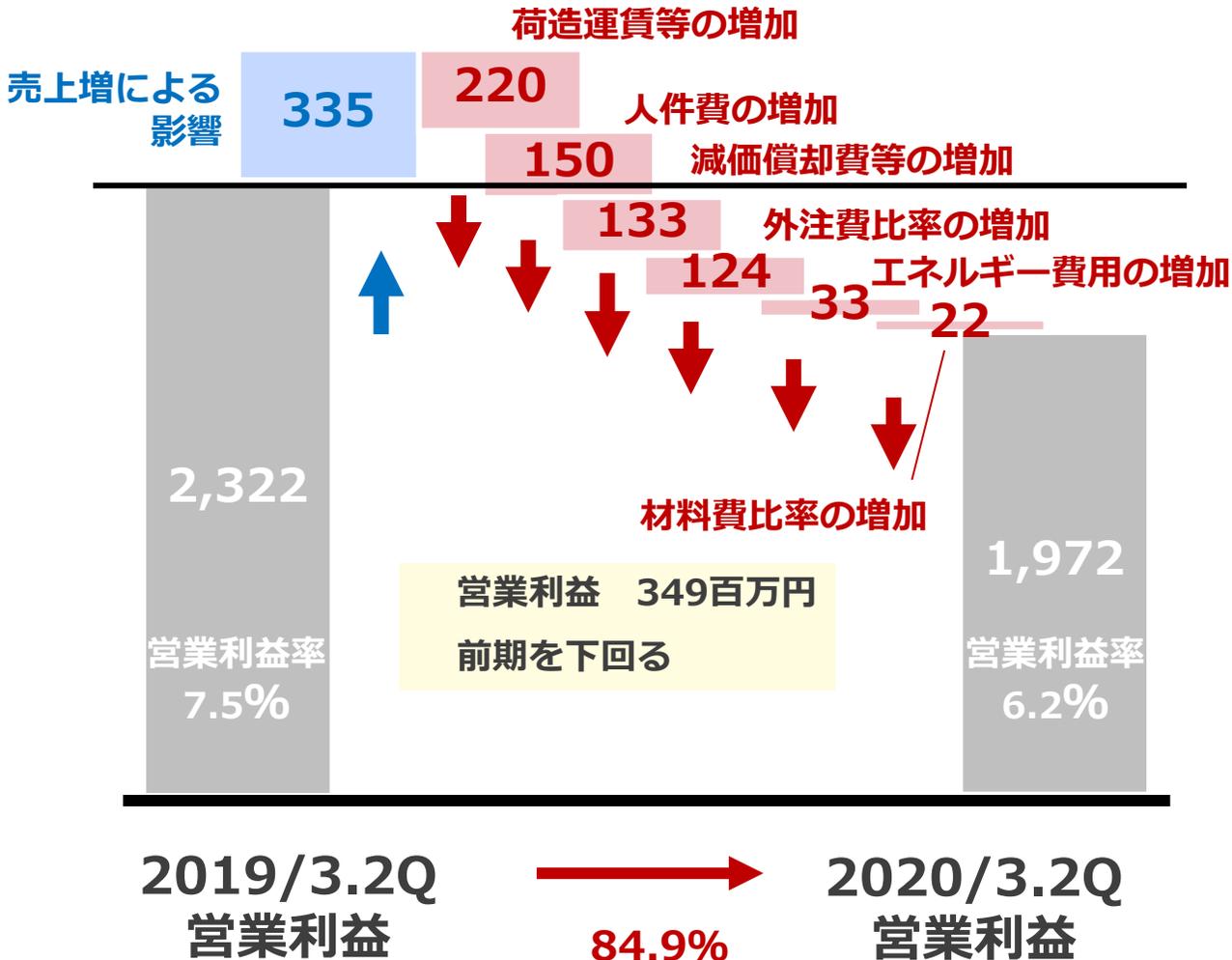
営業利益の減少は、売上原価率、販管費率ともに上昇したことによる  
荷造運賃をはじめ、人件費、外注費、減価償却費等も軒並み増加となった

## 【増加要因に対するコメント】

- ・ 8月よりフーズパレット社の売上が新たに加わる

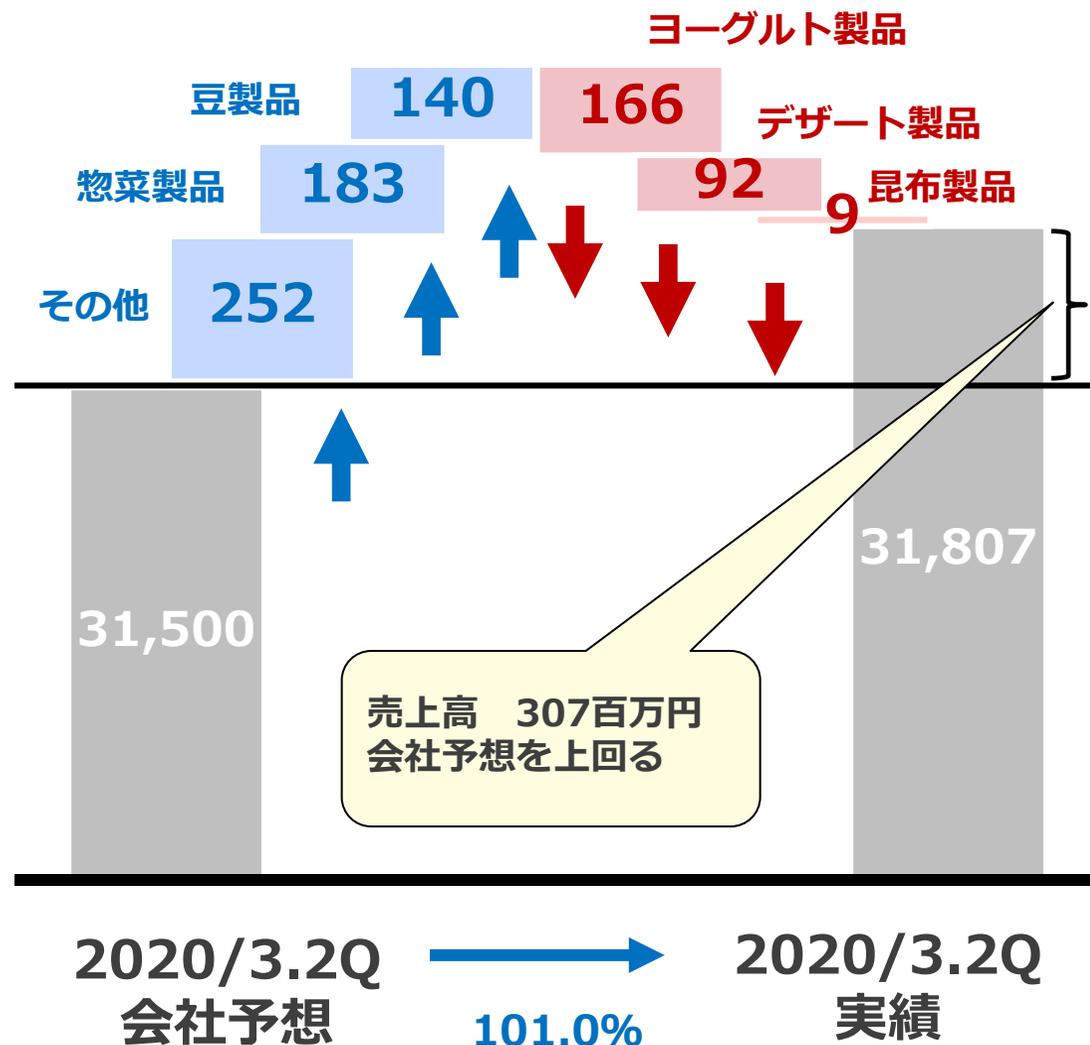
## 【減少要因に対するコメント】

- ・ 荷造運賃等の増加
- ・ 人件費の増加（フーズパレット分）
- ・ 減価償却費等の増加
- ・ 外注費の増加



# 売上高の増減要因分析（会社予想との比較）

単位：百万円



## 【総括】

その他製品（通販）、惣菜製品（フーズパレット完全子会社化）、豆製品（蒸し豆）が会社予想を上回った

ヨーグルト製品（通販サプリ）、昆布製品（塩こんぶ）、デザート製品（フルーツセラピー）が会社予想を下回った

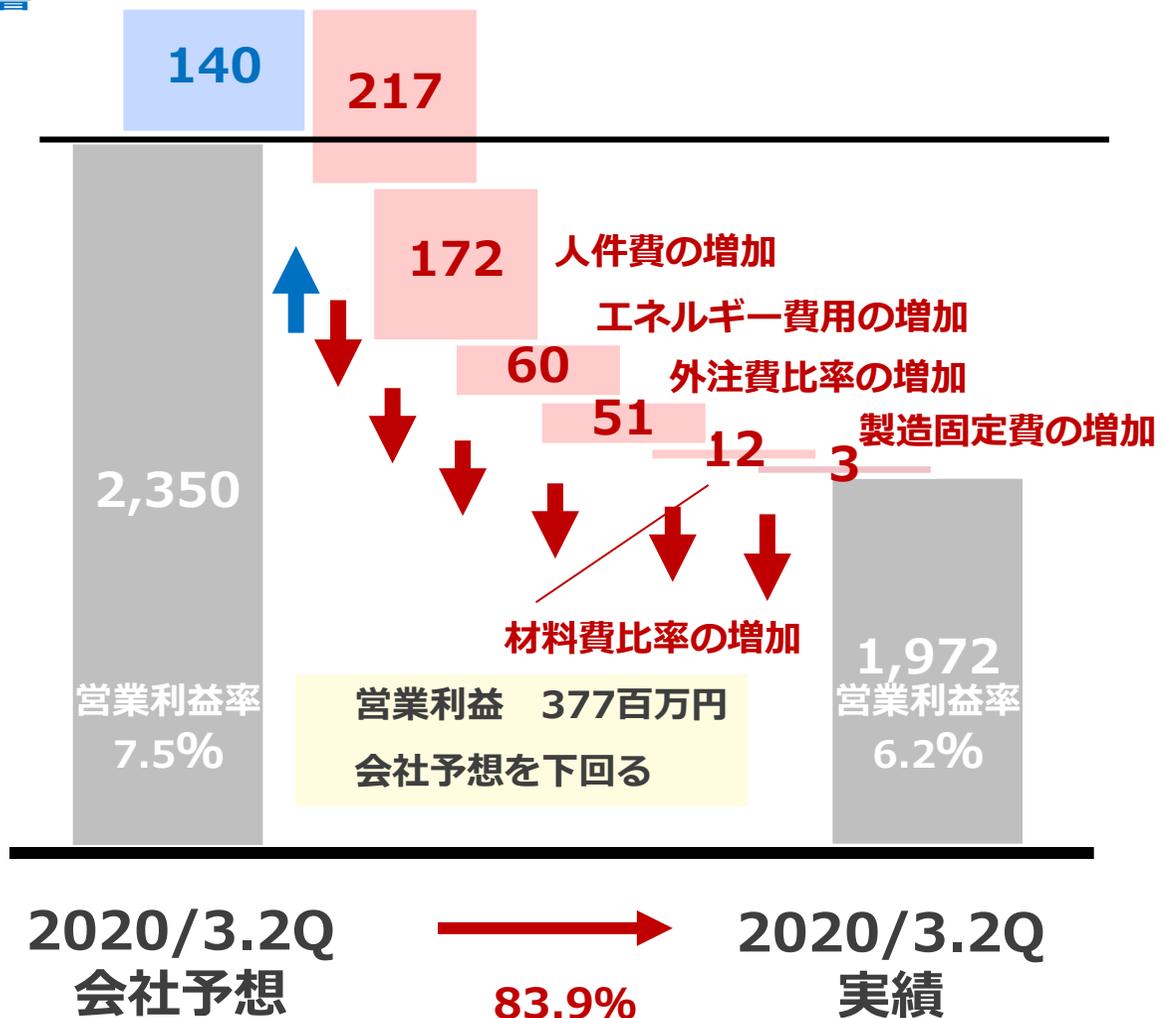
売上高は会社予想より307百万円上回った

# 営業利益の増減要因分析（会社予想との比較）

単位：百万円

売上増加による  
影響

荷造運賃等の増加



## 【総括】

売上高は会社予想を上回ったが、荷造運賃、人件費、エネルギー費用、外注費等の増加分まで補うことができなかった。

## 【増加要因に対するコメント】

- ・ その他製品（通販）
- ・ 惣菜製品（フーズパレット分）
- ・ 豆製品（蒸し豆）

## 【減少要因に対するコメント】

- ・ 荷造運賃等の増加
- ・ 人件費の増加（フーズパレット分）
- ・ エネルギー費用の増加
- ・ 外注費の増加

# 四半期会計期間の売上・営業利益の増減推移（前期比）

(単位：百万円)		売上	営業利益	営業利益率
第1 Q (4 - 6月)	前第1 Q	15,340	1,048	6.8%
	実績	15,563	936	6.0%
	増減	+223	△111	-
	前同四半期比	101.5%	89.3%	-
第2 Q (7 - 9月)	前第2 Q	15,724	1,274	8.1%
	実績	16,243	1,036	6.4%
	増減	+519	△237	-
	前同四半期比	103.3%	81.3%	-
累計 (4 - 9月)	前期	31,064	2,322	7.5%
	実績	31,807	1,972	6.2%
	増減	+742	△349	-
	前同四半期比	102.4%	84.9%	-

# 通期業績の見通し

# 連結製品分類別売上高

(単位：百万円)	2019/3 実績	構成比 %	2020/3 予想	構成比 %	前期差	設定率
惣菜製品	20,989	32.7	22,581	34.7	1,591	107.6%
昆布製品	17,746	27.7	17,405	26.8	△341	98.1%
豆製品	13,980	21.8	13,648	21.0	△332	97.6%
ヨーグルト製品	6,803	10.6	6,825	10.5	21	100.3%
デザート製品	3,256	5.1	3,031	4.7	△225	93.1%
その他製品	1,370	2.1	1,510	2.3	139	110.2%
合計	64,145	100.0	65,000	100.0	854	101.3%

## 取り組み方針

- 惣菜製品 : 包装惣菜「おばんざい小鉢」の販売拡大、フーズパレット子会社化
- 昆布製品 : 年間キャンペーンによる底上げ、「塩こんぶ」のシェアアップ
- 豆製品 : 年末黒豆の拡販、蒸し豆のシェアアップ
- ヨーグルト製品 : 「カスピ海ヨーグルト 脂肪ゼロ」の拡販
- デザート製品 : 期間限定商品の投入

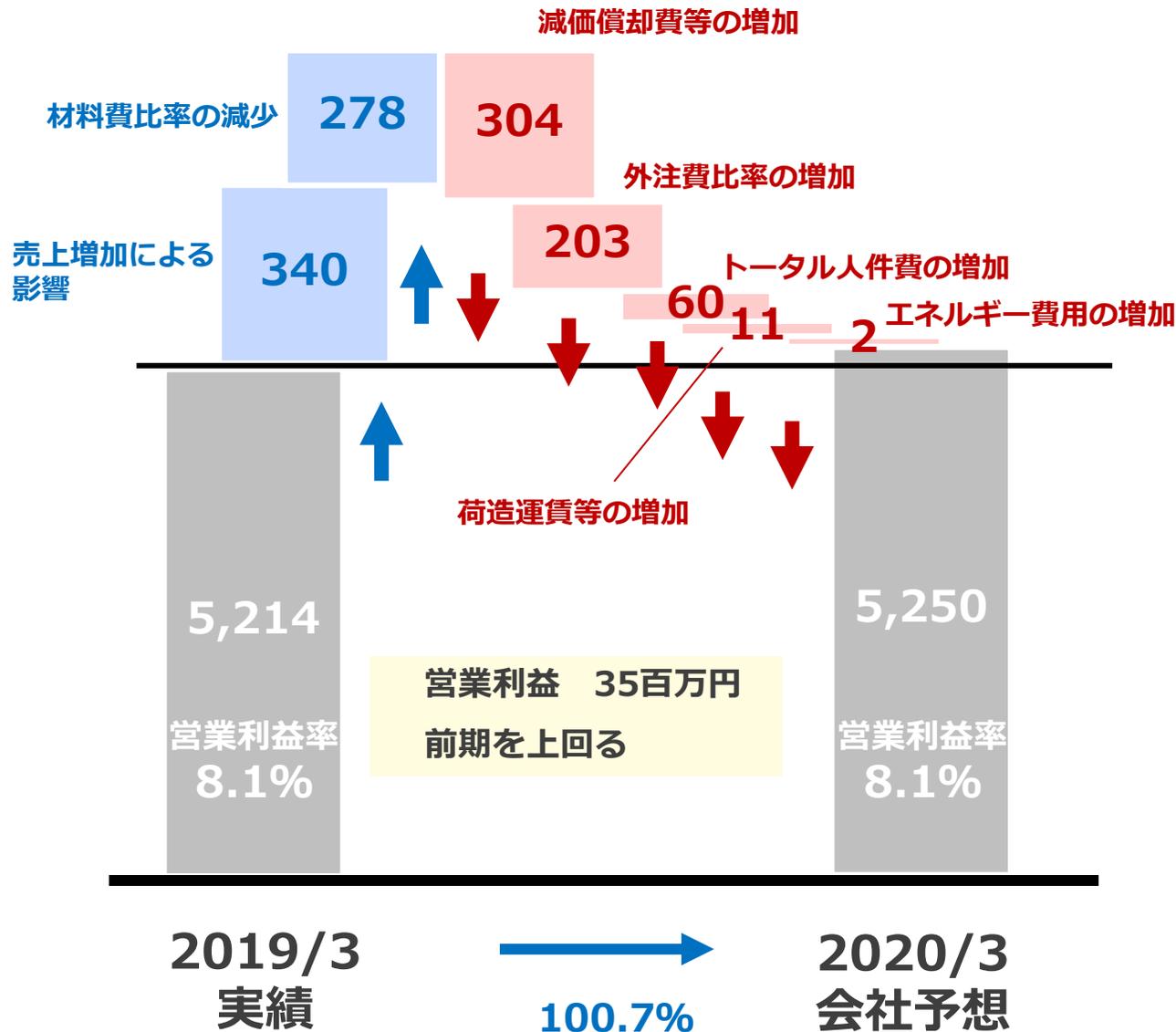
# 連結業績予想

	2019/3期		2020/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	64,145	100.0	65,000	100.0	854
売上原価	38,037	59.3	38,550	59.3	512
売上総利益	26,107	40.7	26,450	40.7	342
販売費及び一般管理費	20,893	32.6	21,200	32.6	306
営業利益	5,214	8.1	5,250	8.1	35
営業外損益	332	0.5	300	0.5	△32
経常利益	5,546	8.6	5,550	8.5	3
特別損益	726	1.1	-	-	△726
税引前利益	6,273	9.8	5,550	8.5	△723
当期純利益*	4,189	6.5	3,800	5.8	△389
1株当り当期純利益	140円02銭		126円98銭		△13円04銭
1株当り配当金	38円 (中間19円)		38円 (中間19円)		±0

\* 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

# 営業利益の増減要因分析（前期比）

単位：百万円



## 【ポイント】

### ① 予想どおりの増収

### ② FCR-1の推進

- ・粗利額の確保
- ・全社コストダウン活動

### ③ 販管費率の改善

- ・トータル物流費の低減
- ・“小さな本社”の取り組み

この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営推進部	尾西まで
TEL	078-303-5921
FAX	078-303-5949